

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

当社は、環境に配慮した事業活動を通じ、環境問題に対して取引企業共々協力して取り組むとともに、安全・技術・品質にこだわり、従業員一丸となって優れた製品を迅速に提供します。2030年に向け、本業を通じたSDGsへの貢献を目指しています。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・二酸化炭素排出量をITを用いて可視化する。 ・排出量の監視を行い、削減量の目標を決める。 ・従業員1人当たりの排出量を計算し、削減に向けて取り組む。	二酸化炭素排出量の削減 2023年度 従業員一人当たり1766t CO2 →2026年度 従業員一人当たり1677t CO2 (-5%)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・健康経営優良法人の認定に取り組む ・2024年度 認定評価項目14項目の内、6項目(認定要件)を決定する。 ・2025年度に決定6項目を2か月毎に1項目を順次達成し100%達成する。 ・2026年度に申請、認定を受ける。	健康経営優良法人の認定 2023年度 未認定 →2026年度 認定
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	事業活動に有益なワークセミナーを受講する	ワークセミナー受講 2023年度 未受講 →2026年度 15件(年度毎 5件受講)

<パートナーシップ>

お客様、従業員、地域社会、協力企業、行政、金融機関などと連携して持続可能な社会づくりに貢献いたします。本業においても、確かな技術と自由な発想で新しいエネルギースタイルを提案します。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・事業活動に伴う温室効果ガスの排出抑制への取組み 21年度よりCO2排出量を把握しているが、21年から23年にかけての増産に伴い、排出量が増えている状況(21年度101.025tCO2 22年度103.655tCO2 23年度108.278tCO2)。新工場棟と納品、工事件名数が増えたことにより排出量が増えている。	二酸化炭素排出量を2021年度より計測し、排出量を削減する。	21年度の排出量を100%とした場合の削減率 21年度 100% 22年度 103% 23年度 107%
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・健康経営優良法人認定 急激な半導体の受注増に伴う対応により、まだ評価項目や認定要件を把握している状況で進展はない。認定を受けるまでに至っていない。	2023年度までに認定を受ける	認定を受けるまでに至っていない為、未達成の状況です。
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・事業活動で有効な資格取得者割合(人数) 急激な半導体の受注増に伴う対応により、対象資格の試験を受験出来ていない状況で進展はない。	2021年度16%⇒2023年度32%(5人⇒10人)	合格者 0名

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。